

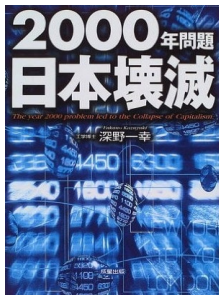
ミレニアム (Y2K) 対応

1975.4.1.入社 立岡一郎

1910年、ハレー彗星の接近が間近に迫った時、欧米各国ではこの世の終焉が訪れる噂が飛び交い、パニックとなったといわれていました。

時間が経過して20世紀の終わりになるとコンピューターが日付を正しく認識できなくなる可能性があるという問題が発生しました。

(Y2k問題)



日本政府は、メディアを通じて国民にY2K問題の周知を図り、適切な対処方法を伝えました。

民間企業も、Y2K問題に対応していない、古いシステムの改修や交換が急ピッチで進められました。

D社でも閉鎖となったトポス甲府店のお借りしてDIS、TEC社、営業統括本部で2000年前後のシステム検証を数日ミッチリ行いました。



システム検証の結果、2000年になっても誤作動は発生しないという結論に至りました！

12月31日になるとシステム検証では問題ない結果でしたが、予期せぬ事態に備えて各本部有志がHOCで越年する事になりました。

感慨深いのはCEOが18時と22時超えの2度14階に激励に来られ、特に2回目は皆で円陣を組んでCEOが珍しくフィリピンでの戦争時代のお話をされたのが記憶に残っています。

やがて年が明け、裏手の東京タワーがミレニアム(2000年)表示になったのが印象的でした！

また、2000年1月1日早朝のヘルプデスクからの報告では全店POSが正常に立ち上がったという報告を受けて安堵しました。

(Mission Complet !)

～以 上～

